



地誌解題

三

ル 3  
809  
3





門名 3  
號 809  
卷 3



編修地志備用典藉解題總目錄

第十四

別記十一

東山道

木曾路記

二卷

貝原篤信

木曾道中勝景行程記

一卷

大坂住者より江戸鈴木々々記  
江戸より信公福岳山公記  
江戸より明石

尤も詳悉

木曾路名所圖會

七冊

秋里舜福

伴裁東海道圖會  
江戸日光乃事  
江戸内裏  
江戸

江戸日光乃事  
江戸内裏  
江戸

明治三十八年  
十二月一日



図所、函圖都、細密

奥羽観迹聞老志

写本 源義和

奥羽乃郡縣封疆郡名其古義其外奥羽

二か故事あり、其をさうり、歴代の官使

位階等々、と記し、詩文和歌も有り

奥羽名勝志

写本 古松軒

此書は、巡りて、奥羽と巡り、事

記し、頗る詳なり、図あり

歧蘇路安見繪圖

二冊 四半本

谷氏と顯い、その奥羽編

日本指し、京之条、格と、乃同上、信濃、江、若

道、輝、寺、院、等、あり、り、り

近江

近江内土記

写 左中乃蘇東元隆写

日本総國風土記の中、あり

淡海地志

写本 一巻 淡海府志 第四藏六

山川の古跡、村、高、産、物、を、記、し、り、り

近江輿地志略

写本 寒川辰清

山川草木、及び、近江、水、産、物、を、記、し、り、り

今、より、其、名、を、記、し、り、り

近江地志

写本

村、高、石、高、新、村、を、記、し、り、り

其、名、を、記、し、り、り

近江國郡村記

写本

村、高、寺、志

近江名所圖會

写本 村上石田秋里、籬島撰

伊勢、茶、字、圖、本、曾、終、圖、と、代、茶、と、り、り、り



ナリ只篇名如ウリハナリ

琵琶湖記 写一 沙路充長

琵琶湖外事 詳ナリ

淡海奥譜 写一 衛國拙者撰

湖奥の譜 一々和漢水書加引く凡余外  
事ナリ

湖奥生鳥 写一

生鳥存別

新羅略記 写二

新羅明神外記 説々一々凡

江外一景録 刻三

三井寺外事 附記凡

石山寺縁起 写一 釋良祥撰

石山寺由来 刻一

長谷外傳ニ記一々ウリノと著ナリ

近江國地番 写一

道政里程村外書 志一

近江國細見圖 刻一 山本重政

前弓田一 詳ナリ

大津繪圖 刻一

繪品森満尺子凡足々凡

石山寺圖 刻一 釋良祥

美濃

美濃古跡考 写十七 式部外輔平清□

山水草木神祇仙閣 詳ナリ



巖色府志 写四 首藤元震

前二回一

岩村城記 写一

古事七載凡

遠山来由記 写二

霧城の事以一凡

老人物語 写一 有賀友益

天山北地好く正徳の同く國境の在り興廢

如く凡

美濃國諸舊記 写大

國産の古名人の事以凡

濃湯諸士傳記 写每

前二回一

濃湯戦記 写一冊

美濃國紙漉書 写一冊

此事詳解

濃北風雅 刻一

南所風景記録

卧竜山駒野城山舊記 写一

美濃國四願寺略録起 刻一

美濃國苗 写一

村高きく凡

美濃池四郡之圖 写一

日一

高須輪中之苗 写一枚

日一



淡路関ヶ原合戦之圖 写一板

陣取の系 詳なり

美濃國明智城縄張之圖 写一板

詳なり

濃州桂之郷古城 写二葉

淡路揖斐所圖 写一

詳なり

飛 彈

飛彈託 写一 鈴比奈入道定味

又

飛分々國司城之の来四合戦事成然り

地理産物と記卷末方言と一なる

写一

長谷川忠宗

本か乃大意と凡一七地圖法物産記

飛別志同附録 写十冊

おに同し治又とあり

飛分見聞書同利害趣意書 写一

地理風俗衣服飲食年中行事と上より下に

の書ふけりしと人筆の書成しなる

飛彈國乘鞍嶽雷鳥記 写一

神代古又命し雷鳥成換へし事成しなる

飛別高山照蓮寺山荘松亭圖 写一

松亭乃詩分連録力なり

飛分志附録古蹟圖 写一 長谷川忠宗

山野縣嶽の事とこの人







伊寺書

信府統記 三十三冊 鈴木重武 三冊 弘寫

信中之搜索一其詳細と尽せし尤も著し  
その有り

松城通記 三冊 桃井友直

志田氏此事一松代の事實一考へるに缺  
所ありしを補ふ

四隣譚教 三冊 寺澤好謙撰

好謙と訪ひ奇と探り且聞且寫して快と  
しんその有り

木乃下蔭 一冊

神社の宝物考一考此事一なり

高遠軍記 一冊 平常寛撰

高遠の事系号一

吾蘇志略 一冊 松平次雲

木曾此事一叙述頗詳一悉く

浅間山迎接會 一冊 信慈撰

浅間山一と頗見るに足る似説多し

浅間山燒記 一冊

信上一二分一江戶へ知しその書状一存し  
なり

浅間山燒記別本 一冊

大凡一分り日一小異あり

浅間山之記 一冊 上野高崎藩屋某女撰

浅間燒の事一至る事一可謂真正一木曾之乃  
書し清君錦一序しそ



信列所用中及見聞候趣書附 画

里程風俗等 画

信分伏久那村 用發百姓覺 画

應永年中改名 所見地初有

信濃國小縣郡小泉村小泉文圃書 画

小泉家系事 画

信列本曾山義仲院監觴 画

寢覺浦島太郎此係起 画

浦島此 画

信濃國筑摩郡安曇郡繪卷 画

於此ありて村後 画

信列本曾山 画

本曾此地理詳志と云へ

海津城傳圖 画

お代城の事古今志

信列小縣岡村城圖 画

糸懸見りて 画

信濃國善光寺繪圖 画

上野

上野國志 画 近友守重

此書体例頗る五畿内志より倣と云へる書

法皆我方言と用申見る所可云へ

上野國志 画 杖義卿撰

日本紀以下國史より出る上野の事實と冊録

一して撰たる事にも上野乃事ハ盡きり

と云へり



上野國志略 寫 考澤好道

上野國故事の圖畫 以て 遺傳の類

上野國郡分村名石高帳 寫

十四郡村名石高帳 寫

上野國郡境記 寫

前 了 日

上野郡分村高 寫

村持寺持神社之記 一 了

上野國村々明細書 寫

石高帳 了 日 一 了 了

上野國神名帳 寫

神社故事 了

前橋風土記 寫 古市慈孝

抄 見 了 了 了

上野國多胡郷村々明細書 寫

多胡郷十三村明細書 了

上野國新田郡村々明細書 寫

新田郡三ヶ村之記 了

高崎志 寫 川邊寛

山川草木器皿 了 了 了 古史事 了 了 了

榛名山地名考 寫 佐藤寛

榛名山神社の事 了

榛名山志 寫 日 撰

前 了 日 一文 了 了 了 了

西上野八景詩并序 寫



草津温泉奇效記刻

館林城覺書写

園田氏の事蹟

館林威衰記写

徳古戦闘の事蹟の記

岩根家系附考写

新田義重の事蹟の考実并其の所出古文書記考

我神心披之きり之り

大光院開見録追考写

金山城山城の記

長樂寺日記写

館林園写

城の図考

上毛多胡郡碑帖刻

碑の背後より平辨撰の碑面考証を載す

下野

下野風土記写

那須城分刻考

那須拾遺記写 本学武元

那須元才漏一たの神心

那須國造碑写

権文河利

下野國湯津上村碑実録写

今園の寸大銘文考

宇都宮城主代、就宇都宮明神縁起写

細川守義の神縁起



足利學校記 一本

秘府書目録 足利學校舊記 一本

足利學校舊記 一本

書上 足利學校舊記 一本

日光山記 一本

檀林書院 日光山記 一本

日光山御記 一本

寺中 日光山御記 一本

日光志 三本

事實 日光志 三本

日光山御善記 一本

日光山御善記 一本

日光山御善記 一本

又 一本

日光山御善記 一本

日光山御善記 一本

日光山御善記 一本

日光山御善記 一本

日光山御善記 一本

日光山御善記 一本

日光山御善記 一本

日光山御善記 一本

日光山御善記 一本

日光山御善記 一本

日光山御善記 一本



道程名物

日光山道志留通一本

聖橋義武

乃松

日光山堂社建立舊記一本

寺社古蹟

日光雜語一本

宮社 産物 碑銘

日光山諸碑銘一本

日光山八景詩一本 失田好古

那須山湯泉八景一本

源泉水事蹟述入詩分あり

雲岩寺十境五橋圖一本 沙門子鍊

仙説文

日光道中行程記安見繪圖一本 東冲

圖程詳悉あり

足利學校圖一本

宝曆以前の看見所あり

日光山御茶礼行列略圖一本

日光山之仙坐延年斎東遊舞圖一本

第十六

別記十三

陸奥

陸奥風土記二本

古風古記残本

封内風土記二本



松平陸奥より封内より下への由り  
奥公仙臺の跡志 写一本

名所考  
會津風土記 写一本 保科正之撰

會津風土記附續今津風土記 写一本

會津舊事雜考 写三本 向井老重

會津神社志 写一本 服部安休

會津道中記 写一本 神武より後水尾帝より至るまでの事なり

全路方位水界圖と河の流るる來由と記  
り

津輕一統志 写七本 相坂則茂 伊東祐則撰

津輕光信治世より蝦夷蜂起まで

津輕道中記 写一本

奥別名城府志 写一本

猪苗代領河東與三十一村萬改覺書 写一本

方位行程各村乃大小戸數人數男女馬數四  
富原野守

平泉行草 写一本 釋香國

詩多

平泉実録 写一本

考証あり

平泉舊蹟志 写一本 相原友直撰

考証あり



陸奥國關物語 一本

函國其合我之記凡引書中又白川古傳記之記  
凡之之之之之之之之之之之之之之之之之之  
之之之之之之之之之之之之之之之之之之

陸奥話記 一本

寫

白川姓昔傳記 一本 大塚高之

白川古傳記 一本

寫

陸奥勝見考 一本 藤塚知明

考証 一本

陸奥名所盡 一本

寫

和分と河川

信達歌 二本 然坂邦

奇多く國史と用中因て注記加へたる考証

河川

松島遠目鏡 一本 藤原昌芳

和分多し

壺碑考 一本 平信恕

又 一本

大同小異撰人異なり似たり

燕澤碑考證 一本 友塚知明

靈柩碑 寫 高田秀茂

陸奥國神社縁起 一本

塩竈神社縁起 一本 上野直通

神名役録 三本 深澤義撰

天祖辨 一本 天保七代地神五代より後冷泉帝

中乃同寺山度異と



長帳略記 三本 深宗景

前書より續くよりなり

長帳續年日記 三本 深俊光

前書より又續くより久き所あり

續年日記 三本

前書より又續くより

奥古岩圖 一本

共来由藏書に記せり

奥州驛路圖 二本 秦徳凡

細密善本なり

奥分南部銅吹圖 画

吹立の如きよりなり

陸奥國塩竈松島圖 刺 佐久間集

蝦夷

蝦夷志 一本 新井君美

蝦夷風土記 一本 新山賢

是書簡而雅馴 頗る見よ

松前志 七本 松前慶長

車箱

蝦夷松前島 二本

産物外車多し

松前蝦夷記 一本

志摩守居所と此之町屋敷等よりなり 此記  
精しなり

蝦夷記 一本 関信興

新井氏蝦夷志より漏れしなり



蝦夷一揆興廢記 二本

水師全藏ハ如密藩士ノ乞フク馬也

蝦夷地風俗書上 一本

一名近事奇觀加模西葛杜加國風説

蝦夷地事考

蝦夷談話記 蝦夷地圖 蝦夷人圖 二本

因少ク着色出ル事又可取

蝦夷拾遺 三本

北邊考案アリ於テ才一考以之ノ一合余ト受テ  
ト彼國ノ海ヲ以テ其ノ一存リ

蝦夷拾遺別卷 一本 或云辛島俊藏

事實考

蝦夷拾遺 一本 幸多利秋

蝦夷七宗祭古ノ儀

蝦夷巡見録 一本

國史ヲ出ルル蝦夷乃シテ我抄也トテ其説ト  
附凡

蝦夷草紙同附録 二本 最上常經撰

種ノ事

赤蝦夷風説考 一本

この國其書其翻譯其その四條河ノ蝦夷乃  
事考

蝦夷一併 一本

蝦夷其系圖籍一騷動一併トテ凡



沼海異聞 一本 右田草

蝦夷地乃澄觴以事也

蝦夷之諸集 三本 塩見利得撰

蝦夷騷擾記 巡回蝦夷秘記 蝦夷改行二卷

イナ川

夷言俗話 二本 串平正筆

夷地ノイナ川ノ記

藻塩草 一本 上原延次郎支那阿都長三郎同撰

蝦夷ノ言語ヲ撰テイナ川ノ部ニイテイナ川ノ

蝦夷記行 三本 谷元旦

人物考ノ因アリ終ニイナ川ノ

享和辛酉唐古事状 一本

唐古島ノ人山丹ヲ口マス人ノ言語通不通

乃事可

東蝦夷地名考 一本 泰徳九

地名ノ由来ヲイテ其考ヲ載ル

北海道 二本

蝦夷乃騷動ノ記

北海道 一本

地理風俗兵備土産考

蝦夷巡覽筆札 一本 高橋寛光

山川寺社凡土産物ノ事多ク

蝦夷對面同巡見録 一本

種々ノ回答アリ義經ノ事イテアリ

蝦夷地繪圖 画

海邊ノ事



蝦夷地圖 写

松本氏書写

蝦夷令書 写 血友氏不撰

蝦夷奥島圖 写 桑池某

里程考考

蝦夷地魯西亞属国島接界圖 写 同氏、撰

方角度数考

カラフトの圖 写

### 出羽

出羽物誌 一本 写

古戦痕蹟の事 写

庄内物誌同附録 二本 写 小寺正信

地理考疑一 多子多一 武藏山乃子 義氏乃来

由 由一 乃人

山形城記並舊蹟記 一本 写

家系の事 写

米澤事跡考 一本 写

郡類考多々 写録 乃

又 一本 乃 乃 乃 乃

郡門とくさ 乃

三山雅集 三本 乃 乃 乃

水多

出羽國輿地全圖 写

### 第十七

### 北陸道



北陸名勝圖記 寫一本 大江宗三撰

右田原藏書より写す所なり江戶より大坂へ  
うつるところ北陸道の所なり

北國巡杖記 刻一本 鳥翠居士北亞撰

名所古蹟とけし之奇事怪談故實未由る  
地一考なり

北三別略記 寫二本 振井改次撰

諸書書引被して記す

三州奇談 寫四本

加賀徒登越中三州と記し其の  
趣なり

加能越三別大略水注 寫一本 土屋義依著

先川川乃名と物し其下と其名其異稱と小書

一して傍と并し其所在は其名と  
多し

### 若狭

若狭國志 寫三本 船重正義撰

酒井氏乃長久々令受り作り開卷界  
圖を挙たり

若狭郡志 寫五本 菱井言倫著

未全成り其なり

若耶群談 寫一本

小濱城と趣り其松原と終る其以名國此方  
位古代按地高 氏の按地考なり

若耶觀跡記 寫一本

若耶群談と誤り多し其の多し教訓状な



其執事たり

若狭守護代記

二本

猪俣安定撰

頼朝より嚴有公より至迄乃守護代の姓名

と一冊

若別雲漢八景

一本

方位形勢乃果實記一次に南時名家吟詠  
其乃乃水方なり

小濱領之圖

經過乃街道を以て線を以て并ぶて之を圖際  
なり一國を總右高内三郡を圖乃名高と記し  
間、其地小濱と何所なり

越前

古今類聚越前國誌

七本

鷹純方撰

沿革疆場形勢故事郡界 地山川並原野  
等あり

越藩拾遺録

三本

村田氏春撰

實録なり

越前國城跡記

一本

方位地名考類

越前古城跡

一本

明石友吉撰

同部氏乃命と受て古城跡とすなり記  
と一冊

越前國中村々名寄願主記

一本

村島乃幸所

南越名所

二本

由來代記一古分二三首と余下又掲ぐ



古洋草

一本 魏大庵撰

越前國水手寺

永平寺知事清規

一本

知事古寺中衆信司より所より清規を成  
事之規程あり云

越前地圖

也其分ち專し能て用ひ邦外界よりその  
能て異より頗る細密と云

加賀

加賀風土記

一本

古風土記残本

金澤道中記

二本

古俗行未決方、申す

加別大聖寺落城之圖

山口之蕃又子とて討死を遂げ侍り其圖  
本より軍學者より其物

能登

越

越中

越中舊事記

二本

越中本法寺法華經略縁起

一本

知光院乃 書より何書

越中五山圖

神社及山中村落名本名石と云り  
一一譯出



越後

北越志 二年 画 巻 撰

風俗気運地理産物人品方言器械衣服古跡古物名木怪談等々

越後名寄 八本 画 凡公元純撰

不類ニシテ 倭ノニ 其成録ニシテ

越後名寄参補 十本 画

古ノノ 和分及ニ 其成録ニシテ 一巻ニシテ

越後國名勝志 二年 画

國形ノノ 和分及ニ 其成録ニシテ

越後國全圖附録同圖繪 七年 画 三編七巻撰

精案ノノ 凡ノ

北越奇談 六年 刻 橋本世撰

奇事異談多シ 兒女乃 月成悦ハシ 甚ク

浦佐村年中行事 五年 画

正月より十二月迄ノノ 名風俗等々

昆沙門ノ 架川ノ 右ノ 奇事

村上寺社集覽 一本 画 廣瀬親英撰

事實ノノ 凡ノ

國上山寺縁起 一本 画

越後國圖 画

地名村々考ノノ 其成録ニシテ

又 画 近世寺職撰

越後城圖 画 松平定長撰



城乃形勢之固也、然、  
城中之画

越後國首田圖 写

佐渡

新選佐渡風土記 一本

國乃典故事實と記、凡、四、五、条、有、

佐渡風土記 八本

文訓、凡、流、洩、事、實、然、足、多、く、有、

佐渡國記 一本

本、佐渡古以來石流、併、益、又、至、了、二十一人と、

佐渡略記 一本

城乃形勢之固也、然、  
城中之画

佐渡地志 一本 横池某

此社乃事多、一、乃、所、十、四、々、所、奉、有、

佐渡古跡考 一本

未、第、の、書、以、國、中、各、所、古、跡、考、

佐渡志略 一本

其、事、實、々、大、概、上、乃、佐、渡、地、志、と、同、

佐渡年代記 一本

社、乃、寺、と、同、考、次、二、年、代、記、略、下、に、上、杉、氏、

乃、事、巧、

佐渡事略 一本 石野廣通

佐還見圃日記 凡、

佐渡國由来記 二本



此書諸説あり所引之書も亦傳りて依  
文何し書中採りて依後官吏乃ちりて  
有る

依渡國産集 一本

國産七十八種之及小圖ありて詳説あり  
り下の方言九々あり

御支所所領所村馬並覺書 一本

種々乃雜事あり

金銀山の記金銀山塚方仕揃書金銀鑓形成并次方仕揃書 三本

令浪多少の沿革あり起りて田切場所并取明  
場所考其數を其山師より書上たり

依渡國寺社所方覺書 一本

依渡より上へ書上たり書何し諸役人より庶人

人足考にありて俸米考あり

依渡國總寺院書函 一本

寺院宗旨や寺名一寺毎に所在及び末寺  
力を事代記せり

依別所官御靈屋由緒書 一本

東照公より文茶院様迄乃盡儀の筆者姓  
名考に記せり

亂革命 一本

卷長年中比叡の僧侶諸君一途より事代  
亂に托して書しり

依渡國繪圖 画

海邊船着船より所及略に記せり

令銀山の繪巻 画



精密と云ふ

依西國相川所新圖依波地圖 寫

海邊乃地名昔多一國內之及以凡

依波古川所古繪圖 寫

神社仁岡皆又新と云く其或分古圖傍可

其標識と出せり

第十八

別記十五

山陰道

關

丹波

丹波志 寫 十一本

十六卷古川辰五 卷 永之貞 寫

丹波國風土式

寫 一本

未定の書あり

丹波栢原領道程改帳 寫 一本

道程あり

千年山集 寫 三本 安友為明

詩并あり

丹波國丈繪圖 刻 矢野貞利

着色あり

丹波國畜 寫

着色あり

丹後

丹後田邊府志

刻 六本

釋 重重

典故に於て心哉用申と云ふあり



丹波國宮津志 寫一

實録

丹波國圖 寫

丹波國天橋之圖 刻

名所 古今古今と改

天橋五圖 刻

疎漏

但馬

但馬考 寫六 良翰

但引一覽集 寫一 岸田敬義

諸書 引て引用と記

但馬湯會道中記 寫二

道程 乃大略あり

但馬國大繪圖 刻 植村尚玄

因幡

因幡民談 寫七 小泉左賢

功 取相半の書あり

續稻葉民談 寫三 鶴殿某

遺 洒多

勝見名蹟志 寫六 上野忠親

寺 社勝見乃名義

鹿野故事談 寫一 悠道伸

古 城趾の事場之り

伯耆

伯耆民談 寫四 松岡

古 事御歴多しとれと



出雲

出雲國風土記 一本

古風古記の殘本の一

七古國風土記考 一本 荷田春滿

凡古記乃誤字欠文と考す

出雲風土記解 三本 内山実胤

雲陽志 三冊 尾沃長吉

神社伝説 各所四録

懷搢於 二本

若老下りて書し有り 神伝名所古蹟記

早よりし文批あり 実説あり

出雲大神宮梓築大社記 一本

神学考の巻あり

大社日御崎御宮大御神樂催之詞 写

節略あり 見たりあり

日御崎西宮天根社末社 一本

同上

日御崎古字略記 一本

神記より素盞尊行事抄出 水中に祭

礼乃大畧あり

出雲大社記事 一本

國造乃事 実年中行事とあり

雲引樋河上天淵記所終國神社記 一本

素盞尊 斬蛇の事あり

雲舟松江圖 写

詳備あり



出雲國大社圖 刻

圖傍

出雲日御所社圖 刻

録功陋醜

石見

石見濱田所考 一本

考証河、其説乃高石社一

石見銀山記 一本

銀山開起、

津島家大坂御城

迄西ノ下

石見銀山小録 一本

銀山以來由土人抄傳、其津島家其所以

人丸傳記 一本

五人丸社事、其記凡卷末十人の人麻呂

河

抄本人丸事考 一本

釋類常

石見國圖 寫

要録を以て郡界を分ち、其源をり、

道路并糸凡

石見國人丸社其外繪圖 寫

隱岐

隱岐國記 一本 藪屋某

俳諧多し

隱州視聽合記 一本

國代記國の方位、其後古より領之の事實  
を記し、  
氏領之たり、一時代又修不



竹島考 一本

考証 とくへ

休島圖 寫

第十九

別記十六

山陽道

藝備國郡志 寫 馬川玄逸撰

部類 以下 記凡 河東へき多し

播磨

播磨鑑 寫 平野庸脩

異談 政語 人物土産行事 とく

播磨志草 寫 周平父

郡類 紛雜 脱漏多し

播陽萬寶智惠袋 寫 二十五本 天川友親

考証 とくへ

播磨名蹟志 寫 四本 白井元貞

國郡鄉村乃事 詳 可なり

播磨古蹟便覽 寫 一本

峰松記備考 寫 二本

伝説 多し

新岑松記 寫 二本

寺院 とく 考証正一前編

此 中 凡 古 多 白 あり

播洲古城記 寫 一本

倅裁錯雜 とく 郡名 とく 分 た り



播磨古城記別本 一本

諸將入郡移轉の事実と一考

播磨巡 一本 田原相常

大坂より姫路まで 道程名所古蹟松江仙園

と番一々記

赤穂郡志 一本 藤江忠康撰

神社仙園と申多一 村高其事も可

播磨名所巡覽圖繪 一本 村上某

播磨一々播磨より至る記行と委曲と記

たり

播磨國名所産物記 二本

地名考証と歌引なり

播磨國産物目録 一本

那村々分たれり 形共留註あり 奇跡乃  
事多一民間其事可

紫洋四馬浦詩 一本 黄符著

古蹟名所乃流あり

播磨歌枕天伽盤開基 一本

名所歌りありて考証あり

播磨書寫山縁起 一本 釋快倫著

卷末に快倫乃事實と一考あり

播磨別班鳩寺縁起 一本 釋某

播磨國大繪圖刻 山下重政

十六郡の境界と分ち郡名乃傍郡高と細  
書あり

播磨姫路圖 写



本凡以下諸郡諸門及び諸士屋敷市街  
寺院乃事圖ニありい一著色ノ例一也

播別姫踏繪圖 寫

前々同倅々々異例

美作

山陽道美化記 寫七本

寺院乃事々々

作別記 寫四本 津田重倫

事實詳有り

作所風土略 寫一本

郡名於下ニ古名ニ附一神社山川佛寺  
各具郡下ノ沿革ナリ

美作志 一本 寫

倅裁未成乃書例ノ證據あり

美作國地圖 刻 野村美至撰

踏程乃事 詳ナリ

備前

備陽國志 寫三本

里數國郡古蹟人物乃事ナリ

古備前鑑 寫二本

古備前如備前國岡山縣大概ナリ至る名蹟成  
一ノ凡

備前名所細志集

古備前中後三國ノ分也ナリ説ナリ一國ノ言  
及ハ郡名古今在違ナリトモアリ



寸箴乃地理

一本 土肥經平

古備國其備前國其置一々如右との尺

外社地名如尺

備前國上道郡湯通村萬燈由来

一本

考證如尺

備前國山學校圖

一本

此山學校松平光政建る所此圖を略号く

備中

備中集成志

十一本 石井好胤

傳會既足乃説多一

備中國高越城記

一本

土地乃役人より其村の古屋某に尋て

答る所存る参考如尺多一

備中府志

五本 平川親忠

好古乃癖一々考證多一

備中西國処禮記

一本

為國名所舊跡故人古事との尺

戸川家藏備中國古圖

五本

詳細如尺

備後

福山志料

三十五本

主命を奉りて仍る如尺

安久多河

二本

備後國の名所如尺

備後賀島記

一本

松本成徳



浅野氏奉徳の曾祖重政の孝義と稱  
—此地と婦人國主江戸に遷すは還る時必  
此地とて月々思ふと重政因て思ふ威  
—其事或名に鞠中といふ書に文載す  
志々書あり

鞠浦志 一車 吉田利國  
写

福山 一方へは、鞠浦の事詳盡と

いふあり

朝鮮人宿鞠津詩 刻

詩伴等五律あり

### 安藝

安藝國郡名之事 一車  
写

論議あり正なり

安藝國郡輿語之論 一車  
写

古く因伴あり小異なり卷末に春水の名  
あり

安藝國郡名輿語説 一車  
写

藝後滝喜平次昌應の記あり名會に答へ  
—書あり

安藝國長門縣考 附言因隠戸瀬戸論 一車  
写

の事か多し〜〜如分を引く考証  
あり

嚴島道芝記 八車 小島常也撰  
刻

嚴島の事實より多し是書詳なり〜〜書  
といふあり



伊都岐島八景 一本

御膳登白多

嚴島名所畫并年中行事 寫

寺社より境内に在る所乃諸社諸堂及び  
名所古跡と御道芝祀と比るれ其事  
什一なり

安藝國浮鯛記并和歌 一本

書中分て二段と尺段燕の書朱書して  
多

安藝國嚴島勝景圖刻 只系寫

道芝祀より比るれ其事  
百の一なり

嚴島神寶記 一本

五彩と社一あり

又 寫

着色最精

用坊

防別岩田錦帯橋圖 刻

岩田城下の刻より所より  
錦帯橋を写す

長門

豊府志略 五本 早井温故

里数の事志

長列赤間開聖衆山阿弥陀寺略縁起 一本

壇浦の戦平氏敗二位尼水に没し即ち  
當寺より并し御衣成道し事成詳なり



長列二宮文書 一本

二宮への寄進状祈禱状及び補任免除造  
宣旨の文書或集録の書あり

第二十

別記十七

南海道

四國編禮靈場記 一本 釋宗本撰

寺院乃事洋儀

四國編礼道指南 一本 釋省辨

編礼乃人心得と一人

四國編礼繪圖 列

七不思議乃事あり

紀伊

免伊志 一本 武内玄竟

近及守重と改り

紀列名勝志 一本

考証并繪と並に於撰あり

南紀名勝志 二本

陽國名勝志と大同小異あり

陽國名蹟志 一本

南國又より陽國より

紀伊國名所圖會 和集 二本 高市志友撰

又 二集 日人撰

紀伊國名所圖會 九本



舊跡事考

紀路歌枕抄 三本

并より考へり

南海道紀伊神名帳

熊野道中略記 一本

和歌山より熊野三所より田邊の道中

記し古名と地名のしりぬ

熊野行程記 一本

名所古蹟

玉藻詩集 二本 同本元撰

弱浦の園と開卷より 名草琴浦に

いふ

通念集 一本 釋道沼

寺院の事多し

野山名靈集 五本 釋茂範

前々曰く但高野山は事實詳し

楚峯十八景詩 八本 雲石

寂本

奥院興廢記 一本 釋尚祚

高野山金剛峯寺細入坊成慶院寶物目錄 一本 秀雅

自筆本あり

高野名所記 一本

高野諸誌巻詳し

道成寺鐘今在妙満寺和鮮略縁起 八本

宝曆己卯乃刻本あり



高野山細見大繪圖刻 大坂畫師國雄圖

熊野神寶圖寫

十八呂と圖尺

淡路

淡國通記 寫 萩 碧港

名所古跡と記 一古波寺の載尺

淡路常盤草 寫 仲野安庵

古書と引と國郡乃名義寺と記尺

淡路國領在國田島地頭注文 寫

阿波

關



